

1. 対象学年		小学校 3年生		分析後
2. 主題名		内容項目：C-（12） だれもが住みやすい暮らし		
3. 資料名		出典：みんなの道徳 3年（学研） 「パラリンピックにねがいをこめて」		
4. 資料分析	(1) 中心人物	大日方邦子さん		
	(2) 助言者(講師)	いる		
		いない	自分の活躍がバリアフリー化に影響	
	原動力			
5. ねらい		誰もが住みやすい社会を目指す大日方さんの生き方から、 障がい者に対する社会の姿勢に目を向け、自分自身の公正公平さについて見つめなおすことで、障がいがある人とかかわりについて理解を深める。		

1. 対象学年		小学校 3年生		発案当初
2. 主題名		内容項目：C-（12） だれもが住みやすい暮らし		
3. 資料名		出典：みんなの道徳 3年（学研） 「パラリンピックにねがいをこめて」		
4. 資料分析	(1) 中心人物	大日方邦子さん		
	(2) 助言者(講師)	いる		
		いない	自分の活躍がバリアフリー化に影響	
	原動力			
5. ねらい		自分のためだけでなく誰もが住みやすい社会を目指す大日方さんの生き方から、自分自身の公正公平さについて見つめなおすことで、誰に対しても分け隔てなく接しようとする心情を育てる。		

6. 発問展開

授業展開 【時間(分)】 ・学習活動	発問	児童・生徒の反応予測
導入 【5】 ・資料のあらすじと登場人物をとらえる ・範読をさく	東京オリンピックについて知っているかな。では、パラリンピックは？ 本時の教材を示す「パラリンピックにねがいをこめて」教師の範読	
展開 【15】 ・大日方さんの気持ちを考える	主題にむかう 「大日方さんの願いはかなっていますか？」 ・大日方さんの願いが金メダルをとるのではなく、その先にあることを確認する ・身の回りのバリアフリーになっている場所について交流	・バリアフリーが広がってほしいという願い ・かなっている たくさんのバリアフリーがある ・みんなが使うところにバリアフリーはある
【15】 ・自分も壁を作っていたかもしれないことに気付く	主題にせまる ステップ1 「 どんどん進んでいる。どんどん進めることができたということですね。なぜ、もっとはやくバリアフリー化が進まないのか。 」 ・障がい者への 社会の姿勢に目を向ける。 ステップ2 「 大日方さんはなぜ心のみぞがあると思っているのでしょうか？ 」 ・大日方さんがうめたいと考えているみぞについて多面的、多角的に考えさせる ・バリアフリーが形式的、施設面のものではなく「心のバリアをなくす」ことが重要であることに気付かせる ・自分の障がいに対する壁に気づき、葛藤させる ・公正公平、障がい者理解などと関連付ける	・障がい者はかわいそう ・ある人が困っていることに気付いてない ・～してあげているという意識 ・特別な感じがする ・みんな平等にしないとダメだけどできない ・まずは知ること ・相手の目線に立つこと
【7】 ・誰もが住みやすい暮らしのためにシステムだけでなく心のバリアフリーについても考える	自己と向き合う 「 どうすれば心のみぞはうまいますか？ 」 ※児童の考え方によっては、「公平なかかわり？公平であると相手は受け止める？」とゆさぶることに留意	・障がい者はかわいそう ・ある人が困っていることに気付いてない ・～してあげているという意識 ・特別な感じがする ・みんな平等にしないとダメだけどできない
終末【3】	感想の交流と説話	・まずは知ること ・相手の目線に立つこと

6. 発問展開

授業展開 【時間(分)】 ・学習活動	発問	児童・生徒の反応予測
導入 【5】 ・資料のあらすじと登場人物をとらえる ・範読をさく	東京オリンピックについて知っているかな。では、パラリンピックは？ 本時の教材を示す「パラリンピックにねがいをこめて」教師の範読	
展開 【15】 ・大日方さんの気持ちを考える	主題にむかう 「大日方さんの願いはかなっていますか？」 ・大日方さんの願いが金メダルをとるのではなく、その先にあることを確認する ・身の回りのバリアフリーになっている場所について交流	・バリアフリーが広がってほしいという願い ・かなっている たくさんのバリアフリーがある ・みんなが使うところにバリアフリーはある
【15】 ・自分も壁を作っていたかもしれないことに気付く	主題にせまる 「大日方さんはなぜ心のみぞがあると思っているのでしょうか？」 ・大日方さんがうめたいと考えているみぞについて多面的、多角的に考えさせる ・バリアフリーが形式的、施設面のものではなく「心のバリアをなくす」ことが重要であることに気付かせる ・自分の障がいに対する壁に気づき、葛藤させる ・公正公平、障がい者理解などと関連付ける	・障がい者はかわいそう ・ある人が困っていることに気付いてない ・～してあげているという意識 ・特別な感じがする ・みんな平等にしないとダメだけどできない
【7】 ・誰もが住みやすい暮らしのためにシステムだけでなく心のバリアフリーについても考える	自己と向き合う 「 どうすれば自分と相手のみぞはうまいますか？ 」	・まずは知ること ・相手の目線に立つこと
終末 【3】	感想の交流と説話	

留意点

- ・自分自身に「障がい者に対する壁」が少なからずあったことに気付かせる場面を工夫。